

Mini-Symposium on Flow Injection Analysis with Professor Gary D. Christian

第 49 回フローインジェクション分析講演会報告

愛知工業大学 手嶋紀雄

はじめに

2011 年 7 月にポーランドのクラクフで開催された 17th International Conference on Flow Injection Analysis (ICFIA) の期間中に、酒井忠雄先生（愛知工大）がクリスチャン先生（ワシントン大）ご夫妻に来日を打診され、約半年後の 12 月 2・3 日に表題のようなミニシンポジウムと FIA 講演会との共同開催が実現した。本研究懇談会（JAFIA）の委員長が酒井先生から今任稔彦先生（九州大）に交代するこの機会にふさわしく、盛大かつ国際的な会となった。

講演件数とプログラム

講演件数は、オープニング講演 1 件、特別講演 1 件、招待講演 1 件、英語口頭 8 件、日本語口頭 7 件、新製品紹介 4 件、ポスター 21 件の合計 43 件であった。詳しいプログラムは、以下の URL から閲覧できるので、ご覧いただきたい。

<http://jafia.kyushu-u.ac.jp/japanese/event/program2.pdf>

オープニング講演・特別講演・招待講演

開会の辞に続いて、クリスチャン先生のオープニング講演が行われた。FIA に比べて、理想的な溶液混合を行うことができるエレクトロインジェクション分析¹⁾、また懐かしい写真を織り交ぜながら、ICFIA と JAFIA との深いつながりが紹介された。

実行委員長の酒井先生によって、JAFIA の創立から現在までの活動に関する特別講演が行われた。クリスチャン先生が、日本分析化学会の名誉会員となられたときのぶんせき誌記事も紹介された。また、“光分析を生業として—相馬光学 35 年の歩み—”と題して相馬光学社長の浦 信夫氏による招待講演が行われた。

英語口頭・日本語口頭講演

英語口頭により、フローイムノアッセイ（今任氏、九州大）、促進イオン移動ボルタンメトリーと FIA（石松氏、九州大）、大気中ホルムアルデヒド分析（戸田氏、熊本大）、ポリピロール膜を利用する μ 空間とセンサ（床波氏、府立大）、 μ 流路における蛍光プローブの挙動観察（牧氏、九州大）、キャピラリー液体クロマトグラフィー 2 件（Rafi 氏および Linda 氏、岐阜大）、フロー電解セルを用いるオンラインストリッピング分析（水口氏、山形大）に関する講演が行われた。

日本語講演では、金属被膜磁性ビーズの分析的応用（床波氏、府立大）、イオンセンサ μ チップ検出器（正留氏、芝



Photo 1. Opening lecture by Prof. Christian



Photo 2. Poster session time. Left to right: Mr. Katoh, Prof. Toda, Ms. Kitazawa, Mr. Tanaka.

浦工大)、固相抽出反応を用いる FIA（大下氏、吉備国際大）、土壌からの重金属抽出（森氏、群馬大）、アニユラーデニューターを用いるガス分析（泉氏、徳島大）、尿素有の FIA（島田氏、アクア・ラボ）、陽極溶出ボルタンメトリーによる金属定量（本水氏、岡山大）に関する内容が発表された。

新製品紹介講演

以下の 4 社の新製品紹介講演が行われた。新型ネットワーク対応コントローラー（阪本氏、矢部川電気工業）、PC 制御型溶液ハンドリング装置（M&G ケマテックス JAPAN、樋口氏）、機能・操作性を指向した FIA 装置（小川商会、樋口氏）、同時多目的モニターシステム（アクト・サイエンス、バイオリサーチセンター、渡邊氏）である。このほか、三菱化学アナリテック、相馬光学より協賛頂いた。

ポスターショートプレゼンテーション・ポスター講演

ポスター発表の学生全員に、英語による2分間程度のショートプレゼンテーションの機会が設けられた。FIA 講演会では初めての試みである。ある先生から「学生にショートプレゼンテーションのことを告げたら、学生に衝撃が走った」とメールを頂いた。当研究室の学生達も、最初にこの英語ショートプレゼンテーションの存在を聞かされたとき、ざわざわと響めいたが、少し経つとその気になり、一生懸命に英語の原稿を作り始めた。中には学内の英語の先生にその原稿を添削してもらうほどであった。「最近の学生は。。。」としつつ愚痴を言いたくなる年になったが、場を与えれば、今時の学生さんだって結構頑張るものである。

ポスターコアタイムでは、クリスチャン先生ご夫妻にも審査員となっただき、学生ポスター賞の選考が行われた。最優秀ポスター賞は鈴木俊信君（群馬大）が、ポスター賞は Eakkasit PUNRAT 君（岡山大）、杉山恭一郎君（愛知工大）（Photo 3）、福井優悟君（名工大）が受賞した。

懇親会・FIA 各賞授賞式

初日夕刻より学内のカフェ・ド・クリエにて、懇親会が行



Photo 3. A poster award winner: Mr. Sugiyama



Photo 5. A medal was awarded to Prof. Takayanagi.

われた。参加者のほとんどが参加し、大変賑やかな会となった（Photo 4）。懇親会のさなかに、2011年度（一部2010年度）のFIA各賞の授与式が行われた。FIA 学術賞が大野典子氏（朝日大）と高柳俊夫氏（徳島大）へ（Photo 5）、FIA 進歩賞が大下浩司氏（吉備国際大）と床波志保氏（府立大）へ、FIA 技術開発賞が矢部川電気工業へそれぞれ授与された。また、クリスチャン先生ご自身から、JAFIA における長年の功績に対し、本水・酒井両先生にクリスタル盾が贈られた。さらに JAFIA/ICFIA を代表してクリスチャン先生から酒井先生と今任先生にクリスタル盾が、筆者には事務局の仕事を慰労する賞状が手渡された（Photo 6）。

おわりに

今回の FIA 講演会は田中秀治先生（徳島大）のお世話で2012年11月16日に行われる。読者の皆様、一緒に参加しませんか。末筆ながら、本ミニシンポジウム・講演会に協賛頂いた愛知工業大学ならびに企業の皆様、また会場運営の手伝いをしてくれた当研究室学生に感謝申し上げます。

文献

1) V. P. Andreev, G. D. Christian, *Anal. Lett.*, **34**, 1569 (2001).



Photo 4. Banquet. Left to right: Prof. Ohno, Dr. Tokonami, Mrs. Christian, Dr. Lim.



Photo 6. A certificate was given to Prof. Teshima from JAFIA/ICFIA.